

ふるさとはには **ロマン** がある

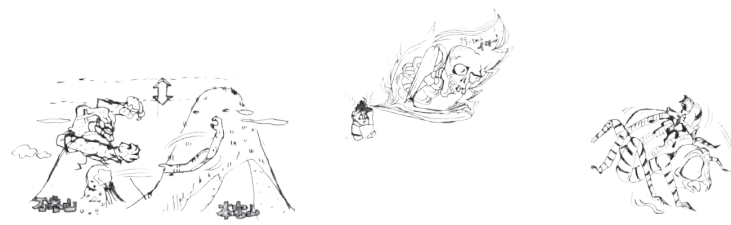
特集

豊橋民話紀行

先祖が大切にしてきた教えや道徳、価値観を織り交ぜながら語り継がれてきた民話。そんな地域ごとの特色を持つ民話が、豊橋にもたくさんあることをご存じですか。その数は、なんと230話以上にも上ると言われています。

今回は、市内の各校区に残る民話の一部を紹介します。子どもや孫に語り掛け、その民話にまつわる場所や人に出会う旅に出掛けませんか。

問合せ：広報広聴課 (☎ 51・2165)



全国に数多く残る「いだらぼっち」の話の一つです。



山の背比べ 石巻校区 (石巻山)

石巻山と向かいの本宮山、どっちが背が高いか、いつもけんかしておった。そこへやって来たのは、いだらぼっち。

「二つの山の頂上に板を掛け、水が流れていった方が負けというのはどうじゃ?」
と言うと、それぞれの山頂に板を乗せ、真ん中に水を流した。

「せーのー! ジャアアア!」
すると、水は勢いよく石巻山の方へ流れていった。悔しそうな石巻山。これを見た村人たちは不憫に思い、

「石巻山に登る時は、山の背が高くなるように小石を山頂に置いて帰らまい。」

私たちが紹介するでん。もともと豊橋が好きになるぞん。

奉納された絵馬が飾られています。



二の午大祭の絵馬 小沢校区 (東観音寺)

小松原の村の惣吉は、働き者だが貧乏で、子だくさん。家宝の壺を手放して買った馬が、不運なことに手を付けられない暴れ馬だった。僧侶に相談すると、

「東観音寺の馬頭観音さまに頼み込み、絵馬を奉納しなさい。」

言われた通り、惣吉は絵師に絵馬を描いてもらい祈ったが、馬はいっこうに落ち着かない。

「あつ! 絵馬に手綱が描かれていないからだ。」
と気付いた惣吉は、すぐに手綱を描き入れてもらった。すると、馬はぴたりと暴



豊橋民話保存会
(上段左から) 大原 伸治さん、小柳津 紘さん
(下段左から) 村田 青水さん、内浦 有美さん

ここが面白い!! 民話の魅力

おもしろ POINT
その3

育む郷土愛

民話から地域の文化や風習を知ること、子どもたちが関心を持ちやすく、地域への興味が深まります。さらに、語りの方に方言を交えることで、親しみやすさが増し、郷土愛を育むことにつながります。

おもしろ POINT
その2

掻き立てる想像力

民話にまつわる風習や物、地形がそのまま残っているものも多く、その地に赴くことで想像を掻き立てます。子どもに対する教えや、人々の願いなど、民話に込められた想いを推測するのも楽しみの一つです。

おもしろ POINT
その1

味わいが出る口頭伝承

人から人へ語り継がれてきた民話は、文書化して伝えられたものとは違い、変化していきます。数百年の間に語り部によって情景などが肉付けされ、味わいのあるものが多く残っています。



表紙・特集イラスト：内浦 有美

Information

豊橋民話に親しむ会

語り部の話や、琵琶語りを聞きます。

対象：小・中学校、児童クラブ、市民サークルなど

申込み：7/16(火)から、ぱったり堂 内浦 (☎090・8158・2339)



琵琶の音色に合わせたお話は聞きやすかった！想像しながら聞くとワクワクします！



松葉児童クラブの児童

豊橋妖怪・民話 巡り すごろく

民話に基づく妖怪が描かれた巨大なすごろくで遊べます。

とき：8/7(水)～8/15(木) 9:30～16:00

ところ：こども未来館「ここにこ」

その他：8/11(祝) 10:30、11:30に「死神の民話語り&琵琶語り」あり

問合せ：こども未来館 (☎21・5527)



石巻山は 358m、
本宮山は 789m。
まだまだだ～！



おいらは
ここだぞん

石巻小学校では、40年以上前から「ダイダラボチ」などの野外劇を全校児童で演じ、郷土に伝わる民話を伝え続けています。

と言った。それ以来、麓の石を石巻神社に供える人が増えた。さて、石巻山の背は高くなったかのん？

毛色が選べる絵馬が
売られています。



旧暦2月の午の日には「馬頭観音二の午祭」が開催され、牛馬の飼い主が一年の無事を祈願します。

れなくなり、よく働くようになったので、惣吉の生活は少しずつ楽になったそうなの。



豊橋民話保存会
小柳津 紘さん

いくことを願っています。

地域の人々の想いを読み取り、想像する。そんな民話が次世代に伝わって

民話は、大人が子どもに話して聞かされてきた庶民の話です。自由に楽しく語ることが大切で、かしまる必要はありません。地域や家族で子どもたち

しかし、民話はそれぞれの土地で起きた出来事や祭事などが、地域で語り継がれる中で育まれてきた郷土の文化遺産とも言えます。特に、豊橋には山、川、海、平野、城下町、旧東海道といった民話の舞台になり得る条件が揃っており、その種類も豊富です。

豊橋の魅力を再発見できる民話

終戦直後の小学生時代、私は父から多くの民話を聞いて育ちました。当時はテレビやラジオなどの娯楽がなく、毎晩、父が聞かせてくれる話が唯一の楽しみでした。今では、娯楽も多様化し、民話に親しむ機会が減ったように思います。

腕借り天狗
二川校区（大岩寺）



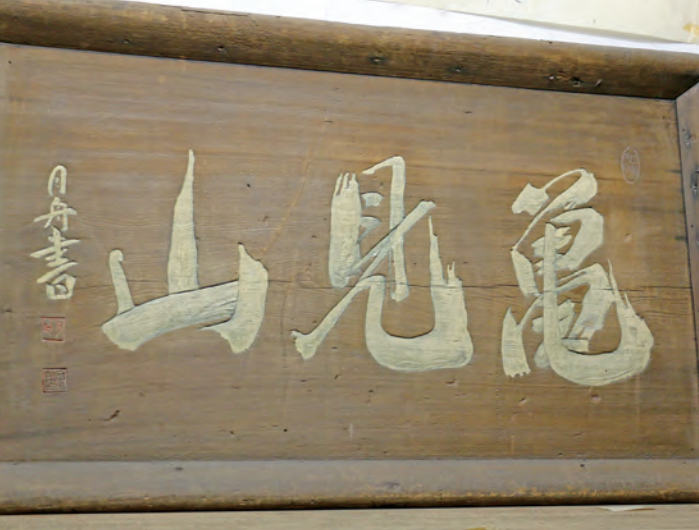
字の上手な和尚がおったら、腕を借りに行くぞん。

「どうしたんだ二川天狗。あんな素晴らしい書は見たことがない。」

おかげで最も書がうまい天狗に選ばれた。

後の1585年、観音堂が大火にあった時、月舟の書いた額だけは焼けずに残ったぞ。もちろん、わしが守ったんじゃ。

わしは秋葉山の天狗。字が下手なのが悩み。困ったことに、あす天狗の書道大会が開かれる。大岩寺における月舟という和尚は字がうまいと聞き、夢の中で交渉した。
「和尚の右腕を一晚だけ借りたんじゃない。貸してくれば、和尚が書いたものは後生、必ず守る。」
和尚は了解してくれ、翌日会場で、わしの筆さばきにとよめきが起こった。



Episode

月舟は実在の人物で、豪快で侘び寂びのある書が三河に多く残されています。今も、大岩寺には「大岩寺」「亀見山」と書かれた額が保管されています。



大岩寺の山号はここ

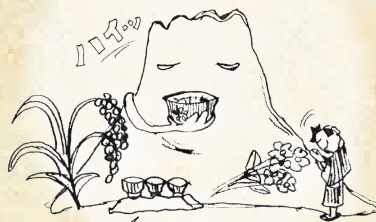


妖怪目線で
豊橋を知る！

る民話4選

事を妖怪に
が市内に伝
す。妖怪の
もの表情が

腕かせ岩
谷川校区（中原町）



腕を返さんと、へそを曲げて貸さんようになるで、みな気を付けるように！

わし、腕かせ岩。わしが貸した腕に汁をよそうと、おいしいぞん。婚礼やお祭りは村をあげての一大イベント。そんな時は、わしのところに村人たちがやって来る。



Episode

岩や山などが腕や膳を貸してくれる話は、全国に残っており、腕かせ岩もその一つです。今も中原町のはずれに、どっしりと座っている腕かせ岩は、東海道を上る旅人が三河国に入る目印とした「立岩」のこぼれ岩と言われています。



北側が立岩

南側が、わしじゃ！

「娘の婚礼をあげてやりたくても、貧しくて用意する腕や膳を持っておりやせん。」
そりゃあ、めでたいのん。わしは、その場で腕を差し出した。
「ありがたや。でも、腕と膳は立派でも、汁に入れる野菜も味噌もない。」と嘆いておる。大丈夫じゃ。わしの腕は奇跡の腕。汁をそのまま腕によそってみよ。
「なんと、おいしい汁ーありがたや。」
婚礼は無事に終わり、村人たちは腕を翌日返しに来た。わしは、人気者だで、こうして語り継がれておる。
そうそう、隣の渥美には、いとこの「膳かし岩」がおって、仲良しだぞん。



Information

民話集を販売しています

■片身のズスキ

片身のズスキをはじめ、校区の民話を53話集めた一冊です。

ところ：中央図書館、美術博物館ほか

料 金：750円

■豊橋妖怪百物語

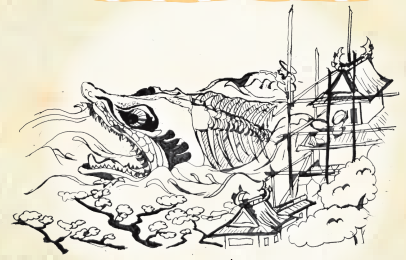
民話にまつわる100の妖怪が語る一冊です。

ところ：豊川堂、精文館書店ほか

料 金：1,620円

ザッブーン！わし、片身のズスキ。わしが豊川の魚を食べ尽くしとったのを、漁師の五郎が感付いた。「こうなったら、おいらがその主を釣って、食いぶちを取り返してやる。」川の魚を食べ尽くして腹が減ったわし、わし。うっかり五郎の竿に食いついて、釣り上げられてしまった。化

片身のズスキ とよがわ 八町校区 (豊川)



腹を空かせたわしに、引っ張られんよう気を付けりん。

け物と見間違うほど大きなわしの姿に喜ぶ五郎。「吉田城のお殿様に献上しよう。」わしは、城の料理人にすーっと片身におろされた。たまったもんじやない！ピヨーンと跳ねると、片身のまま城の裏の豊川に跳び込んだ。それから、わしは、吉田城下に長くすみつき、「豊川の主」とか「片身のズスキ」と呼ばれるようになったぞん。

豊橋妖怪が語

民話に登場する物なぞらえ、妖怪自ら語る4話を紹介し語り口調だと、子ども輝きますよ。

大根流し 杉山校区 (真田神社)



危険なことを子どもに教える時死神に語らせると効果抜群！



喘息や気管支の病気の治癒を願う人が全国から集まるぞん。

と、幸助の咳は翌日から、ぴたりとやんだぞん。



わしの名前は真田幸村。戦国から江戸時代にかけて名をはせた武将だが、知つとるかん？江戸も末。働きの者の幸助という男が、ひどい喘息になってのん。ある年の12月12日、見かねたわしは幸助の夢に現れて、こう言ったんじや。「幸助よ。橋が2つ以上架かり、天の水と地の水が合流して海に流れ出る川に、自分の名前と『真田幸村行』と書いた大根を流せば、喘息は治るだろう。」幸助は真面目な人間で、一生懸命探したところ、杉山でその川「新平川」を見つけた。幸助が川に大根を流す

Episode

村人の口から口に伝わり、いつしか毎年12月には川に大根を流すようになりました。その数が増えたことから、今では絵馬に大根の絵を描いたものを代わりに流す祭事が行われています(現在は12月第2日曜日に開催)。杉山町にある真田神社は、全国から訪問者が年々増えたため、昭和35年に建立されたそうです。

